

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

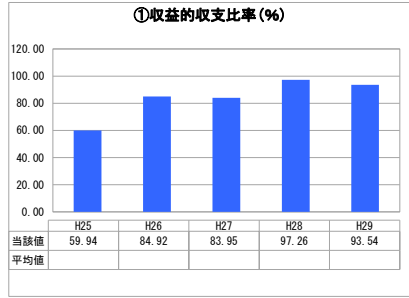
千葉県 香取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.10	100.00	3,780

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
77,838	262.35	296.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,178	2.58	1,231.78

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



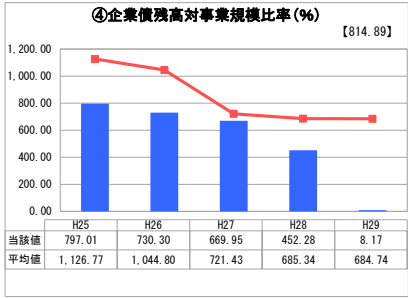
「単年度の収支」



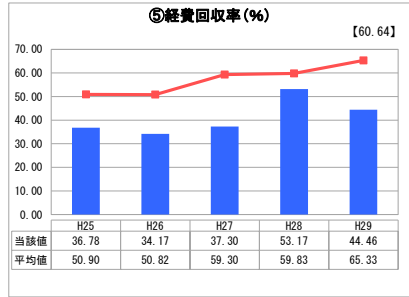
「累積欠損」



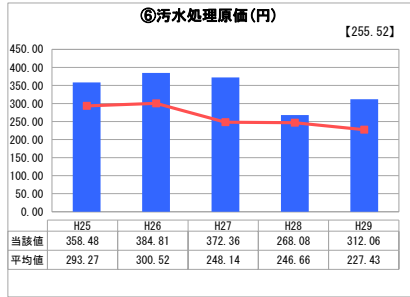
「支払能力」



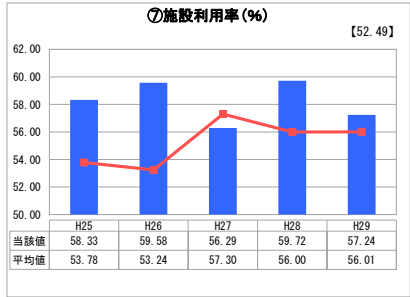
「債務残高」



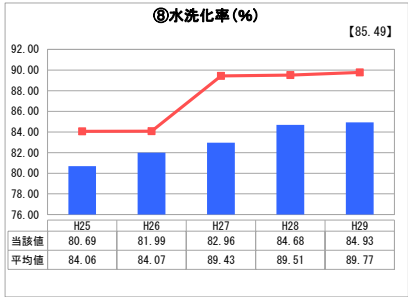
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

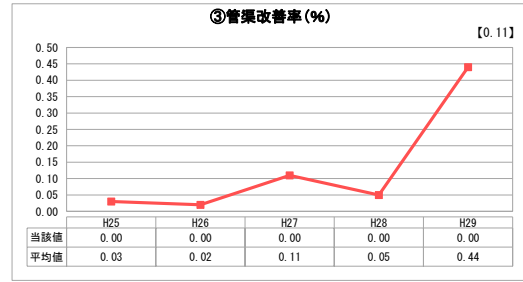
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対事業規模比率は平均値より低く、減少傾向であるため、収益的収支比率は増加傾向にあるが100を下回っている状況である。  
 汚水処理原価は、7処理区処理施設の老朽化に伴い施設補修費が必要となっており、類似団体平均値を上回っている。  
 経費回収率・汚水処理原価は、行政人口の減少に伴う水洗化人口の伸び悩みにより、料金収入及び有収水量の大幅な改善は見込めず、類似団体平均値を下回っている状況である。  
 現在7地区で農業集落排水事業を実施しているが、地区により水洗化率の差が生じているため、結果として水洗化率が類似団体平均値を下回ることとなった。

### 2. 老朽化の状況について

施設の老朽化に伴い、計画的な改修が必要となっているので、H28年度に実施した機能診断を踏まえて、H29年度に最適整備構想を策定した。今後、事業計画の策定を予定している。

### 全体総括

汚水処理原価については、施設の老朽化に伴い維持補償費が必要となっているので、計画的な改修が必要となっている。また、事業の性質上、市街地の人口密集地ではなく農村部での事業実施となるため、公共下水道と比較して料金収入に対する事業費が高コストとなる。  
 行政人口の減少に伴い処理区域内人口は減少傾向にあり、大幅な料金収入の増加は見込めない状況にあるので、水洗化率の低い地区に対して接続率の向上を図り、料金収入の増加に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。